

きらめき☆奈良

子どもたちには夢があります。未来があります。可能性があります。
私たちの大切な宝である子どもたちが、自らの力で輝き、地域や社会、未来を照らす光となるように、奈良市ではさまざまな教育を行っています。
奈良市教育だより『きらめき☆奈良』では、奈良市の教育を紹介します。



発行:平成28年3月
奈良市教育委員会

第11号

特集…30万人の市民を先生に
学校・家庭・地域で子どもたちを育てる
地域教育推進事業について

4面
★なら教育の日
記念集会
★第10回
小中一貫教育
全国サミット
in なら



ニジロ
奈良市教育センター
イメージキャラクター



平城小学校6年生の谷口隼さん(写真右)は「医師になり人の役に立ちたい」という夢を、三碓小学校6年生の川下茉優さん(写真左)は8歳下の弟の出生に立ち会ったときの感動から「助産師になって命の誕生に立ち会いたい」という夢を熱く語ってくれました。富雄中学校1年生の蓮宗一郎さんは、東大寺大仏殿の再建や平城宮跡復元の歴史を通して文化財を守ってきた人々の思いを伝え、一条高校1年生の横畑明日香さんは、英語で奈良の魅力を外国に発信することの大切さや自分の目標を語ってくれました。その後、市内の高校生政策提案コンテストの上位2チーム(奈良女子大附属中等教育学校と育英西高校)による政策発表もありました。

自分の思いや考えを大勢の前で堂々と伝えてくれた素晴らしいプレゼンテーションを通じ、参加者全員が改めて奈良市の教育について考える機会となりました。



12月26日になら100年会館中ホールにて記念集会を開催しました。今年は司会として朝日放送アナウンサー岩本計介さんを迎え、西大寺北幼稚園の園児によるダンスや歌の発表と「子どもたちが語るならの過去から未来」をテーマとして、小学生から高校生までの4人がプレゼンテーションを行いました。

「なら教育の日」
記念集会を開催

第10回 小中一貫教育全国サミット in なら

1月29日、30日に「未来を切り拓き、たくましく生き抜く力を育む小中一貫教育」をテーマに、「第10回小中一貫教育全国サミット in なら」を開催しました。小中一貫教育全国サミットは、小中一貫教育、小中一貫校の研究・開発に取り組む自治体や学校、個人、企業などが情報交換し研究・実践を深めるために平成18年から行われています。今回、奈良市が10年間積み重ねてきた小中一貫教育の取組を全国に発信しました。



授業公開



全体会



分科会

1日目、小中一貫教育の施設タイプ別に、富雄第三小中学校(施設一体型)、平城西中学校ブロック(1中2小連携型)、都跡中学校ブロック(1中1小連携型)の各学校で授業公開、取組報告を行いました。

2日目、なら100年会館大ホールで全体会を開催、オープニングイベントでは、一条高校、三笠中学校、佐保川小学校による吹奏楽合同演奏、児童生徒の代表によるプレゼンテーションが行われました。

前川喜平文部科学審議官から「これからこそが新たな一歩を踏み出す時。」と激励いただきました。

続いて、奈良教育大学教職大学院教授の小柳和喜雄さんをコーディネーターに、理化学研究所理事長の松本紘さん、映画作家の河瀬直美さんによる『ふるさと(ローカル)を根っこに、グローバルな時代を生きる』をテーマにした対談が行われました。河瀬さんは、地域や世代間の交流が少なくなっているとして「地域という小さな世界も立派な『グローバル』ですが、地域を知らずに世界の情報を知ってしまい、迷う子が多い。」と子どもの頃に地域と関わることが大切だと語られました。

全体会の後、なら100年会館とはぐくみセンターを会場に6つの分科会が開催され、全国12の実践報告が行われました。全国から集まった参加者は、2日間でのべ3000人を超えました。

今年度から市内全ての小中学校で小中一貫教育を実施しています。9年間の連続した学びの中で目指す「15歳の像」を各中学校区で掲げ、学校・地域で共有して子どもたちを育てるよう、これからも取組を進めていきます。

きらめき☆奈良については、[奈良市教育だより](#) [検索](#) [記事に対するご意見や感想等がございましたら、下記までお知らせください。](#)



おはよう おかえり こんにちは
声かけ 気かけ 笑顔かけ
守ろう、地域の子どもたち
毎月17日は「子ども安全の日」です。

奈良市教育委員会事務局 教育政策課

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号

Tel.0742-34-5386 Fax.0742-34-4597

